敦賀市知育・啓発施設指定管理者候補者選定委員会の選定結果報告書

敦賀市知育・啓発施設指定管理者について、敦賀市知育・啓発施設指定管理者候補者選定委員会は、申請者から提出された事業計画書、申請者への質疑応答等により、選定委員が管理運営、経費の削減等の項目について評価を行い、次のとおり指定管理者候補者の適格者を選定しましたので、ここに選定結果を報告します。

１　選定団体名

丸善雄松堂・編集工学研究所共同企業体

２　指定期間

令和９年４月１日から令和１４年３月３１日まで

３　申請団体数

１団体

４　申請者の資格等についての適合状況の審査

申請者の資格及び欠格事項（団体であること、国税及び地方税を滞納していないこと等）については、申請書に添付された証明書類との照合等により、いずれも適合していることを確認した。

５　事業計画の審査

⑴　事業計画の選定基準は、当該施設の条例及び規則に定める指定の基準とした。

⑵　条例及び規則に定める指定の基準をもとに選定基準を定め、それぞれの項目に配点をし、１委員１団体当たり１０００点満点の評価とした。各委員の評価書の得点数を合計したものの平均点が６００点以上である場合、申請者を適格者とした。

６　選定委員会委員

氏　　名	職　　名　　等
朝　倉　由　希	福井県立大学　地域政策学部イノベーション学科 教授
浅　野　桃　子	福井工業大学　環境学部デザイン学科　教授
藤　本　昇　明	敦賀信用金庫　総合企画室次長　中小企業診断士
長　尾　勝　広	みんなの森　ぎふメディアコスモス館長　兼 岐阜市立図書館長
清　野　由　美	ジャーナリスト、都市研究者
松　永　朝　恵	絵本カフェ「絵本とコーヒー　ハチドリ」　店主
小　川　　明	敦賀市まちづくり観光部　部長

７　選定の経過

第１回選定委員会 ・指定管理者制度、対象施設の概要説明 ・募集要項・仕様書（案）の説明、決定	令和８年７月１４日
候補者の申請受付開始	令和８年８月１４日
応募予定者向け説明会	令和８年８月２１日
候補者の申請受付締切	令和８年９月２５日
第２回選定委員会 ・申請内容の確認 ・選定・評価方法（案）の説明、決定	令和８年１０月８日
第３回選定委員会 ・申請者のプレゼンテーション及び質疑応答 ・採点及び選定	令和８年１０月２３日

８　選定基準及び評価点

選定基準	配点	申請者の評価点
		丸善雄松堂・編集工学研究所共同企業体
１　管理運営業務（事業計画）		
⑴　実施方針	40	34.29
⑵　書籍その他のメディアの提供に関する業務	80	66.29
⑶　その他の定常的な知育・啓発サービス	60	48.00
⑷　イベント等の企画及び運営業務	70	60.00
⑸　集客に関する業務	60	39.43
⑹　施設の管理に関する業務	50	32.86
⑺　敦賀市のまちづくりに関する事項	30	24.86
⑻　多様な利用者への配慮に関する事項	10	7.43
⑼　自主事業	40	29.71
⑽　収支計画	60	37.71
２　準備業務		
⑴　実施方針	40	32.00
⑵　改修計画	130	92.86
⑶　市有在庫の活用・新規書籍の導入	130	89.14
３　事業全体の考え方		
⑴　全体方針	20	16.57
⑵　実施体制	30	22.29
４　価格審査	150	150
合計	1,000	783.43

9　申請者の適格性及び講評

⑴　適格性

申請者は指定管理者として施設を管理運営する能力を十分有していると認められたため適格者として選定した。

⑵　講評

ア　新規性や独自性という点では際立った提案は多くなかったものの、施設の意義を十分に理解し、これまでの取組を踏まえた、実現性のある提案であった。市と協議を重ね、事業のさらなる発展につなげていただきたい。

イ　本施設の象徴である「世界樹」のデザインや選書は非常にインパクトがあり、本施設の原点であるので、保ちつつ、今まで積み上げたものも大事にしてほしい。

ウ　「ちえなみき」の職員からも施設や本への熱量が感じられ、今後の運営にも期待が持てる内容であった。

エ　「知育・啓発」を目的とする施設として、本好きの方々だけでなく、本に親しむ機会の少ない方も含め、幅広い市民が「知」に触れるきっかけを得られるよう、設置者である市と連携して取り組んでいただきたい。

オ　これまでの多くのワークショップイベントの開催実績を踏まえ、準備業務のうち、ごく一部でも市民と一緒につくり上げていくような取り組みが行われることを期待したい。

カ　小中高校生へ学びの機会を広げる取組は高く評価できる。充実した形で実現されることを期待したい。

キ　「ちえなみき」のさらなる誘客に向けて、敦賀駅からの誘導策についても市と連携の上、検討を進めてほしい。